

# みんなで働き、みんなで学び、みんなで成長

～縦割り班で協力して行う活動を通して～

総合的な学習の時間・特別活動・日常活動

岩国市立神東小学校全学年

## キャリア教育の視点

全校児童20名の小規模校ということから、縦割り班での活動を多く取り入れています。縦割り班活動を行うことで、高学年は常に全体をよく見て班員をリードしながら動き、中学年は高学年を助け、低学年は自分でできることをしっかり行い、それぞれが相手を意識して協力し合いながら成長していくことをねらいとしています。

【人間関係形成・社会形成能力】【課題対応能力】

## 朝の活動

- 3つの班が毎週交替で当番活動を行っている。玄関前の掃き掃除、花壇の水やり、ごみをまとめてごみステーションへ持って行くこと、一輪車倉庫の鍵を開けること等を、高学年児童の指示によって分担して行い、活動後は反省会を行って活動を振り返るようにしている。リーダーは全体を見ながら動き、下学年は指示に従いながらも、慣れてくれば進んで仕事を進めることができるようになっている。
- 当番ではない児童は、週4回、運動場の草引き、花壇の草引き、自分の鉢やプランターの世話等をしている。全体の世話は、環境委員会が中心となって進めるが、上級生は下級生を見ながら仕事を進める上で必要な指示を出しながら、スムーズに流れるようによく様子を見て動いている。人数に対して広い運動場や花壇ではあるが、全校児童がいつも一生懸命働くことで、美しい環境を保っている。



## ボランティア活動

- 校外クリーン  
毎月1回、学校へ続く道の清掃作業を掃除時間に行っている。山道であるため木の葉が多く、溝の中にたくさんたまっており、そのため水の流れが悪くならないように行っている。道具の準備は高学年が行い、清掃場所は学年にあったやりやすい場所に行っている。1～4年生は掃除しやすい場所を、5・6年生は水が流れて木の葉がとりにくい場所をそれぞれ協力してきれいにそうじしている。においがきつかったり、あまりきれいではなかったりする場合もあるが、下学年の頃から続けてきており、地域のためにもなる仕事ということで、どの児童も20分間黙々と働く。後片付けや最終確認は上級生の仕事で、6年生は特に最後までしっかりとやり遂げている。



## ○ 海浜清掃

毎年1回、海水浴シーズン前に、学校近くの海辺の清掃活動を行っている。この行事の前には事前に各学級で目的や内容等を指導し、当日は縦割り班で高学年の指示のもと、海岸のごみを拾い、分別していく。高学年は、場所や分担、作業内容など下級生の世話をしながら手際よく作業を進める。毎年続けているこの行事は、地域の方にも喜んでいただいている。



## 愛鳥活動

毎月1回、地域教育ネットボランティアの方の指導のもと、「探鳥会」を行っている。始めの会では、愛鳥委員会の児童が司会進行し、その日の予定や鳥に関するクイズや話などを行い、その後、縦割りの3班に分かれて地域のコースに野鳥の観察に出かける。6年生になると、鳥の飛び方や鳴き声からも鳥の名前が分かり、下学年に教えながら世話をしながらコースを巡る。海や山が見える美しい自然の中でなごやかに会話も弾み、楽しみながら学習をしている。

教室にもどると、各班ごとにその日見た鳥のことを中心に感想を発表し合ったり、指導者からのお話を聞いたりしてまとめをする。

何も分からなかった1年生が、上級生に学びながら少しずつ鳥を覚え、上の学年になると上手に世話ができるようになっている。



## 運動会

運動会では、いつもの縦割り班とは違う縦割りのチームではあるが、赤組白組がそれぞれ5・6年生を中心に話し合いながら練習を進めることも多い。まず、それぞれのチームが集まって団旗を作ることからスタートする。6年生が意見を聞きながらデザインや作成の分担を決め、全員で作成する。また、応援団も全員が応援団に所属し、5・6年生中心に応援合戦の組み立てを考え、みんなで練習を進めていく。一輪車演技やリレーなども、よりよい演技になるように、バトンパスがスムーズにできるようにと、6年生がリードしながら昼休みにも率先して練習する。

上学年が下学年の世話をしっかり行い、チームとしてまとまり、それぞれが力いっぱい戦い、力を出し切った立派な運動会であったように思う。



## 老人福祉施設訪問・保育園訪問

### ○ 3・4年生による老人福祉施設訪問

日頃は高学年のリードのもと、それを支えていく中学年であるが、七夕の頃、3・4年生だけで老人福祉施設を訪問している。施設におられる方々が楽しめる出し物やゲームを自分たちが考え、練習して当日は自分たちが司会進行しながら施設の方と交流を深める。また、隣の小規模校との合同で訪問したので、相手校と協力しながら会を進めることができた。施設の方に願い事を聞きながら短冊に書き、笹に七夕の飾りをつける活動の中で、「来年も来てね。」と言われて、活動の成功に大変喜んでいた。





## ○ 1・2年生による保育園訪問

いつも上級生に世話をされる立場の低学年であるが、3学期には、自分たちが企画して、保育園の園児たちに楽しんでもらおうといろいろなゲームや遊びの準備をし、当日は園児たちに分かりやすく説明してお楽しみ会を進めることができた。この訪問は、本校だけではなく隣の小規模校と合同で行った。打ち合わせを2回行う中でも、2校合同での実施のためいつもより人数が多いので、自分の思いを伝えるよい勉強になった。1年生をリードする2年生が頼もしく見えた。この学習をもとに、3月には、近くの老人グループホーム訪問を行い、大変喜ばれた。このことは、低学年の児童が自信を深めることにつながった。



## 考察・課題

本校児童は、本当によく働く。人数が少ないので自分がしなければ何事も始まらないし進まない。自分たちのため、学校のため、地域のために力いっぱい活動しようという心や態度を先輩から受け継いでおり、いつも楽しみながら進んで活動している。縦割り班の中で、相手の気持ちを考えながらコミュニケーションを図り、全体との調整をつけながら物事を進めていく力、縦割り班の中での自分の役割を自覚して責任を果たし、よりステップアップしようとする力が育ってきている。



このような力を育てるために、教師は、人間関係に留意して班分けをすること、目的意識をしっかりとさせること、指導する部分と任せる部分を明確にしておくこと、ともに活動する中で子供たちの動きをしっかりと観察し、タイミングよく個に応じた賞賛の言葉をかけることに気を付けてきた。



今後は、児童数が減少していくことで難しい面も出てくるとは思うが、地域の方々との活動をより多く取り入れていきたいと考えている。

